

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

秋の社保学校を開催!

参院選後の情勢をつかみ
秋のたたかいに取り組み

自公政権が復活してはじめての参議院選挙が行われ、自公両党は非改選と合わせ過半数を上回り、その一方、民主党は議席を大きく減らし、共産党は議席を倍増させる結果となりました。
参院選の結果をうけ、安倍自公内閣は、社会保障制度改革推進法による国民会議のとりまとめに基いた、医療・介護・年金などの社会保障制度の総改悪の具体化と生活保護法の再「改正」案を、次期国会に改めて提出する構えです。
引き続き、たたかいを緩めず改悪を許さない取り組みを強めていくことが求められています。

社保学校に参加を

東京社保協は、参議院選挙の結果をふまえ、9月末



巣鴨での宣伝行動

秋の社保学校は、選挙後の情勢をしっかりと学べる講演と生活保護法改悪のネライと生活保護受給者の実態が学べる内容となっております。
各団体・地域から、数多くのみなさんの参加をよろしく願います。

第41回東京社保学校

日時 2013年9月15日(日) 10:00~16:00

会場 けんせつプラザ東京



選挙後の情勢をどう見るのか



二宮 厚美

神戸大学名誉教授

生活保護法改悪のネライ

田所 良平 弁護士

資料代 500円

大田社保協が国保電話相談

国保料が年間5万円増えた

大田社保協は、6月30日に「国保でんわ相談」を実施し、社保協加盟組織から10人が相談者として参加しました。

今回の「国保でんわ相談」は、昨年に引き続き国民健康保険料が引き上げられたことに対する区民の意見を把握し、その内容を大田区へ要望として提出することを目的にして取り組まれました。

当日は、午前10時から午後2時までを受け付け時間とし、8件の相談が寄せられました。

「一人暮らしだが、国保料だけで年金の1割になる。今年度は11万9000円、昨年は11万3000円で6000円も増加し、年金だけではやっていけない」「国保料が年間5万円増えた。2人世帯だが年金の5%が国保の支払いにな



電話相談の様子



大田区への要望

る。異議申し立ての時にぜひこの話をしていたいただきたい」など、切実な声が寄せられました。

これをうけ、7月3日には寄せられた意見や要望をまとめて、大田区に対して「国民健康保険に関する要望書」を提出しました。この申し入れには14人が参加し、個別に国保値上げに対して異議申し立ても行いました。

(為仕事務局長)

品川社保協

品川社保協では、生活保護問題の学習会を6月25日に行い、会場いっぱい50人が参加しました。

生活保護制度は、受給者の親族がマスキミでバッシングされたり、受給できずに餓死・孤立死する事件が起きていて、さらに改悪案が国会で審議さ

れている中で、寺川東京社保協事務局長を講師に学習会を開催しました。

講演では、生活保護申請を窓口で拒否する対応を合法化する生活保護法「改正」案について説明し、生活保護基準の引き下げが8月から実施されることに関連して、生活扶助費の計算の仕方を実際に行うなどの学習会となりました。

生活保護法「改正」案は、通常国会では廃案になりましたが、次期国会に改めて提出されることは間違いなく、改悪を許さない運動に取り組んでいきたいと思えます。

(阿部事務局長)



目黒社保協

「TTPほとんどに参加していないの？」学習会が、7月15日に行われ100人が参加しました。



映画「モンサントの不自然な食べ物」を見たあと、吉田万三氏の講演がありました。

遺伝子組み換え食品は、農薬を使用しても野菜や果物が枯れないようにしたもので、日本に輸入されている遺伝子組み換え食品は、大豆、トウモロコシ、菜種油等です。

農薬が雑草だけを枯らすのであれば「大幅に人件費を減らせる」と作られました。しかし、農薬は土地に人体に、様々な動植物に甚大な被害を与え、生態系が完全に狂ってしまいました。

莫大な利益を上げている「モンサント」はこれを止めようとはしません。企業の利益を全てに優先させているのです。

TTPは、この危険極まりない遺伝子組み換え食品を自

西東京で学習会

西東京社保協は7月3日、学習講演会を開きました。「社会保障制度の解体を狙う「推進法」〜地域から草の根のたたかいを」と題して、寺川東京社保協事務局長が講演し48人が参加しました。



講演する寺川事務局長

由に日本に呼び込むものです。講師は、TPPの本当の狙いについてこう語ります。「モンサントのような多国籍企業は、国境を越えて利益優先の論理で地球を荒らしまわっているのです。」「ある国が国民の健康を損なうと言って、規制を強化しようとするれば裁判に訴えられ、莫大な賠償を支払わされるのです。」TPP参加に反対し、国民の健康と自主的な経済を守りましょう。

(東京土建目黒支部)

講演では、国際競争力に勝てる大企業育成のアベノミクス、そのために労働者の低賃金化、解雇自由の規制緩和、貧困と格差が激化していく。その上で、憲法25条を真つ向から否定して、日本の社会保障制度を根底から覆そうとしていることを、具体的な事例を交えて判りやすく話していただきました。

この講演を受けて、秋からの本格的なたたかいに対して、西東京社保協として、市内の生活保護・年金・医療・介護などの具体的事例で、市民向けに「推進法」の狙いを暴露する学習会を繰り返し開いていくことを確認しました。

(岡本事務局長)



会場を埋めた参加者

猛暑の中、無料なんでも相談会 八王子社保協



相談風景

7月6日、八王子社保協が猛暑のなか、今期2回目の「無料なんでも相談会」を、都営南大谷団地自治会第2集会所で開催しました。

病気療養に関して悩んでいた人、過酷な労働のなかで病気を発症した人、相続問題で悩んでいる人など5人の相談者に対し、会場でのアドバイスに加え、「それでもうまくいかないときは、八王子共立診療所に相談して下さい」「具体的な紛争が起きた時は、八王子合同法律事務所にご相談を」など、その場かぎりでない相談員の対応にホッとして帰っていく相談者の姿が印象的でした。

相談員の和泉弁護士は、「相談に乗ることができてよかった」と語っていました。

八王子社保協は、相談会前の6月29日に年金者組合など13人が参加して会場周辺に約2000枚の案内チラシを配布しました。

(橘田事務局長)

「推進法」廃止署名に引き続き取り組みます！

臨時国会に向け署名を届けよう

連日、返信用ハガキ付きティッシュとして配布した「推進法」廃止署名「ハガキ」が返信されてきています。(約500通、1000人弱、7月末現在で約1万7千筆)となっております。

当面、「推進法」廃止署名は臨時国会まで継続します。引き続き取り組みの強化をお願いします。

なお、「緊急介護署名」については、取り組みを終了します。

秋の取り組みに向けて

8月21日までに国民会議が取りまとめを終了します。これを受け、秋には社会保障改悪の動きが加速され、医療・介護・年金等の大改悪法案の準備も本格化してきます。

引き続き、「推進法」廃止を重点としながら、改悪議論が具体化される下で、新たな署名についても検討していきます。

転任のあつち

5年間の事務局長の任を果たすことができ、みなさまへの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



井の頭公園をはじめ「いのち」のスローガンをかけ

1万人を超える集会を成功させた力による成果でした。東京社保協に加盟する団体を中心に幅広い団体・個人、政党が賛同し、連合の故笹森氏も賛同した運動の力でした。

この時に学んだのは、あきらめずに粘り強く運動を継続させることです。そして、地域の運動の力です。その後に取り組んだ様々な実態調査や国保・医療電話相談で把握した地域の深刻な実態は、私たちのたたかうエネルギーになりました。自治体へのアンケート調査も現状を変える力につながりました。

ア活動を通じて雇用問題も、社会保障の課題と加盟労働組合とともに調査や相談会に取り組んできましたし、現在でも地域社保協も参加する定時・定点の相談会として定着しています。

今改めて、地域の運動を束ねる東京・地域社保協のかけがいのない存在を実感します。事務局長としてその一旦を担えたのは幸せでした。この経験を活かして、もう少し中央社保協で仕事をします。微力ですが、少しでも役に立てればと思っています。厳しい情勢ですが、明るい未来の光が見えています。ともにがんばりましょう。

- ▽30万筆をめざす「推進法」廃止署名活動を各団体・地域で全力をあげて取り組みましょう。
- ▽署名用紙はありますか？無い場合は事務局まで連絡を！
- ▽学習会を開催しましょう。講師などの相談は事務局まで連絡して下さい。
- ▽署名推進に向けて、宣伝グッズ(署名付チラシ)も活用して署名行動に取り組んで下さい。

第27回日本高齢者大会

9月12日(木) 三重大学 13時~16時半 分科会・学習講座
 9月13日(金) 三重県総合文化センター 9時~12時 全体会

記念講演「老人漂流社会・・・」
 板垣淑子 (NHKプロデューサー)
 参加費：1日3000円、2日間6000円

中央社保学校

日時 10月17日(木)~19日(土)
会場 熊本市及び水俣市
費用 参加費：3日間通し9000円
 これ以外に交通費・宿泊費